

校長室から

あけましておめでとうございます

平成24年の新年をむかえました。本年もどうぞよろしく願いいたします。

さて、大阪市立神津小学校小学校は、明治18年（1884年）5月2日に創立以来、127年目を迎えました。その昔中津川（今の淀川ができる前の川）の堤防には、れんげ・たんぼぼ・すみれの花が咲き誇り、菜の花畑が広がっていたそうです。今でも河川敷では、四季折々に野鳥が訪れる豊かな自然にあふれています。また、整備されたグラウンドで、多くの少年たちがスポーツを楽しむことができる場所にもなっています。一方、明治43年（1910年）に、阪急電鉄宝塚線が開通し、「十三駅」ができてから商店街が発達し、多くの人が行きかい、にぎやかで活気のある町になりました。

神津小学校は、このように大阪の商業の中心地、淀川の自然にあふれた地域の中にあります。そして、多くの地域のみなさんに温かく支えられ、育てられた学校といえます。

正門を入ると校訓の碑があります。そこには、「強く」「正しく」「朗らかに」と刻まれています。



校訓とは、「こんな子どもに育てほしい」という学校の目標であり、願いです。

「強く」とは、自分が困った時 苦しい時、くじけたりあきらめたりしないで強く生きるということです。

「正しく」とは、困難を乗り越えようとする時、ずるいことを考えたりせず正しく生きるということです。

「朗らかに」とは、いつも明るく前向きに物事を考え朗らかに生きるということです。

本年も、子どもたちを心豊かにする教育に、教職員一同、一丸となって努力していきたいと思えます。

平成24年 1月

大阪市立神津小学校長 兎島 慎一



